

グルジア政治・経済 主な出来事

【4月15日～4月21日】2013年

〔当地報道をもとに作成〕

平成25年4月24日

在グルジア大使館

主な動き

1. アブハジア・南オセチア

【アブハジア】

- 5000ルーブル紙幣の偽札が発見される(17日)
- ポーデン前グルジア問題担当国連事務総長特別代表(現ロベルト・ボッシュ財団顧問)がアブハジアを訪問、アंकワブ「大統領」と会談(19日)
- シリアから145人のアブハズ人が帰還(20日)

【南オセチア】

- ポツィエフ駐アブハジア大使が任命される(15日)
- 第33回PRM会合(16日)
- 境界線付近で農作業を行う人々の安全の確保、灌漑設備の修理、トビリシに拘留されているオセチア人囚人の問題などが議論された。
- 復活祭が近いことを受けて、EUMM 団長が人々の移動の自由に対する寛容な措置を要請。
- ロシアのフロポニン副首相が南オセチアを訪問(18日)
- ティピロフ「大統領」と会談し、今後の支援の継続を約束。

2. 外政

- 政府代表団がドイツで行われたマーシャル基金主催の安全保障会議に出席(15日)
- イヴァニシヴィリ首相、ウスパシヴィリ国会議長、パンジキゼ外務大臣、クヴィリカシヴィリ経済・持続的開発大臣、ペトリアシヴィリ欧州・欧州大西洋統合問題担当大臣、ヒダシェリ議員が参加。
- ゲゲシゼ駐米グルジア大使がオバマ大統領に信任状を捧呈(15日)
- 7人目の駐米大使。シェワルナゼ政権では大統領府外交政策分析局長を務めていた。現在までシンクタンク「グルジア戦略・国際研究基金」(GFSIS)の上級フェロー。これまでに外交職の経験はない。
- オレカシ・リトニア国防大臣がグルジアを訪問(16日)
- アラサニア国防大臣と会見。グルジアのNATO加入の見通しやアフガニスタンの状況などについて意見を交換。
- パンジキゼ外務大臣がカナダを訪問(18日 19日)
- ペトリアシヴィリ欧州・欧州大西洋統合問題担当大臣が英国を訪問(16日 17日)

- ウスパシヴィリ国会議長がチェコを訪問(16日 18日)
- ポーデン前グルジア問題担当国連事務総長特別代表がグルジアを訪問、イヴァニシヴィリ首相と会談(18日)

3. 内政

- 国内の囚人の数が一年前からほぼ半減(14日)
- 4月14日現在、グルジアの刑務所に拘留されている囚人の数は10,341人。一年前と較べてほぼ半減。
- バラタシヴィリ前公共放送局長が復職(15日)
- 3月4日に理事会が罷免したことを不当解雇として告訴していた。裁判所は訴えを認め、解雇期間中の給与の支払いを命じた。(往電第236号参照)
- 米国民党国際研究所(NDI)が3月に実施した世論調査の結果を発表(15日)
- 現在の国の重要な問題は「失業」「領土一体性」「医療制度」「貧困」など。
- 回答者の58%が「グルジアが良い方向に進んでいる」と答えた。ロシアが「グルジアにとって脅威である」と考える人は68%。グルジアのEUへの加盟の支持は76%、NATOへの加盟の支持は73%。報道がもっとも信頼されているテレビ局はイメディ。
- ダタ・アハライア前内務省憲法保安局局長・前国防副大臣がメラビシヴィリ「統一国民運動」(UNM)事務局局長を告発する記事をフェイスブックに投稿か(15日)
- アハライア氏は昨年10月の選挙後から国外に滞在。11月末より警官を殴打したとして指名手配されている。
- フェイスブックのアカウントは当日つくられたものであり、投稿が本人のものかどうかは不明。
- 2012年8月のロポタ深谷での武力衝突および9月の囚人虐待の映像の公開の黒幕が「メ」首相(当時)であったと告発している。
- 「メ」事務局局長やウグラヴァ・トビリシ市長などは、これが19日のUNMのデモを前にした現政権の工作であると非難。
- サアカシヴィリ大統領が公金を不当に浪費したとする記録を与党連合「グルジアの夢」(GD)の議員が公開(17日)
- 2011年2月に大統領ら3人がイタリア・南チロルに5日間滞在した際の費用37,500ユーロ、2010年10月に大統領とウグラヴァ・トビリシ市長がオーストリア・イン

スブルックに1週間滞在した際の費用 114,900 ラリなど。

旧国会議事堂前で統一国民運動(UNM)のデモが行われる(19日)

・UNM が掲げている親欧米路線を現政府のもとでも守らねばならないということを主張するためとして計画された。

・集まった約1万人の支持者を前に、党の「再生」が訴えられた。事前に参加が伝えられていなかったサアカシヴィリ大統領も登場。

・混乱や衝突もなく、2時間ほどで終了した。

国会が憲法裁判所の審査期間を短縮する法案を承認(19日)

・現行法では、憲法裁判所での法案の審査は最大11カ月かかり、その間法律の施行は延期され得る。改正案では、その期間が最大45日に短縮された。

・グルジア青年法律家協会など6つのNGOが「審査期間が短すぎる」と批判する共同声明を発表。

米務省が2012年の国別人権報告書を発表(19日)

・グルジアについて、囚人虐待、法律の欠陥と司法の独立性の欠如、結社・集会の自由に対する障害などが指摘されている。

4 . 経済

3月末の時点でグルジアに対する最大の債権者は世界銀行(15日)

・対外債務の38%(約16億ドル)。第2位の債権者は国際通貨基金で15%(約6.5億ドル)。第3位の債権者はアジア開発銀行で9.8%(約4.2億ドル)。

3月の工業製品生産者物価指数が前月比0.4%低下、前年同月比1.1%上昇(15日)

IMFがグルジアの2013年実質GDPの6%成長を予測(17日)

・インフレ率は1%と予測。

ハドゥリ財務大臣が米国を訪問(16日 24日)